TEC

SPECIFICATION SHEET

型　　　式　　　ＩＲ－３０－２７

食品プラント洗浄水管理用 残留塩素濃度計

微酸性水
電解次亜水に対応

測定範囲：ＦＳ：５０mg/L 又は ＦＳ:２００mg/L
測定成分：有効塩素（残留塩素）

カット野菜の残留塩素濃度管理に最適です。

食品工業などで滅菌、消毒のために使用される５０mg/L 又は２００mg/Lまでの有効塩素を連続測定するための機器です。測定部は、駆動部を必要としないシンプルな構造で、検水を測定部に通水し、ビーズによる機械研磨と電気化学洗浄を連続併用することで、電極表面を常に最良のコンディションで動作させせることにより、長期間安定した測定が可能となりました。

モニタ
IR－30

操作性に優れた
新型モニタ採用

フローセル
FC－27

詰まりにくく
洗浄が容易な
構造の検出部

センサ
RE−30C/RE−21C

耐水性に優れ
幅広い検水に
対応が可能な
３電極式センサ

※パイプスタンドはオプションです

アプリケーション

◎食品工場などの食品加工用滅菌水の濃度管理
◎乳業用洗ビン工程の滅菌水濃度管理
◎カット野菜、洗卵、食肉などの洗浄水濃度管理

特　長

◎良好な基本特性
◎ビーズ洗浄と連続電気化学洗浄の併用方式
◎広い pH 範囲での安定した測定が可能
◎弱酸性塩素水への適応も可能
◎耐水性に優れたセンサ構造を採用

【注意事項】
★本器を正常に運転するためには、試運転時及び定期的な点検時にゼロ点校正、スパン校正が必要です。
★本器を正常に運転するためには、定期的な保守が必要となります。
★本器の測定部に４５℃以上の検水を流すことはできません。
★本器を正常に運転させるためには取扱説明書を良くお読みいただきご使用ください。
★残留塩素センサは消耗品ですので定期的な交換が必要となります。

標 準 仕 様

［構成部品］	モニタ部、測定部一体型	
モ ニ タ 部	ＩＲ－３０	１台
フローセル	ＦＣ－２７	１台
セ ン サ	ＲＥ－２１Ｃ	１本
	又は ＲＥ－３０Ｃ	１本
標準付属品		１式

★オプション

校正キット
ＣＡ－２

スパン校正に便利な手分析キットもご用意しております



《 モニタ部 》

型 式	ＩＲ－３０
測定成分	全残留塩素(有効塩素)
測定原理	ボルタンメトリー法
測定方式	ビーズ洗浄型微小貴金属３電極方式
有効測定範囲	５.０～５０.０mg/L 又は ２０～２００mg/L
表 示	デジタル３桁ＬＣＤ表示 最小分解能：０.１mg/L（FS:50.0mg/Lの時）または１mg/L（FS：200mg/Lの時）
再 現 性	フルスケールの±3%+1ﾃﾞｨｼﾞｯﾄ以内（流量、ｐＨ、温度、電導度一定時）
応答時間	９０%応答１分以内（検水調整槽出口から）
検水pH範囲	ｐＨ3.5～10.5（急激なｐＨ変動なきこと）
電導度範囲	１０mS/m以上 （但し、塩化物イオン200mg/L以上は不可）
伝送出力	ＤＣ ４ ～ ２０mA 絶縁型 最大負荷抵抗 ５００Ω
接点出力	上限、下限 各１ａ 制御出力 １ａ 制御幅設定スライドスイッチによりヒステリシス幅選択可能
電 源	ＡＣ８５～２５０Ｖ ５０Hz／６０Hz
消費電力	約５VA
設置方法	壁面取付または５０Ａパイプ取付式（オプション）

《フローセル》

型 式	ＦＣ－２７
検水流量	1.2～2 L/min
構 造	ﾋﾞｰｽﾞ噴流洗浄機構付ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ型
接液材質	PVC,PE,ｱﾙﾐﾅ,ｼﾘｺﾝｺﾞﾑ
検水入口	ﾎｰｽｺﾈｸﾀ(適合ﾎｰｽ内径12～15mm)
検水出口	VP20パイプ(大気解放のこと)
検水圧力	0.2MPa以下で供給のこと
検水温度範囲	0～45℃（凍結なきこと）

《センサ》

型 式	ＲＥ－２１Ｃ－０１０Ｎまたは ＲＥ－３０Ｃ－０１０Ｎ（注）
温度補償	サーミスタによる自動温度補償
設置方法	ＦＣ－２７型測定部に取付
電極洗浄方法	ビーズによる機械洗浄および 連続電気化学洗浄併用型
ケーブル長	約１ｍ

（注） FS:50mg/LまではRE-21C-010N
FS200mg/LまではRE-30C-010N

《制限事項》
本器は、次亜塩素酸ナトリウム溶液、塩素ガス、微酸性次亜水、電解次亜水にて発生される有効塩素の測定に適用できます。
海水等塩化物イオンが多量に含有される検水には適用できません。
検水に上記以外の酸化剤が存在すると指示値に正の誤差を与えます。
検水中に還元剤が存在すると指示値に影響を与えます。

**** 仕様書、技術資料は下記までご請求ください ****

お問い合わせ先
TEC テクノエコー株式会社
〒358-0045 埼玉県入間市寺竹５２３－３
TEL 04-2937-1061 FAX 04-2936-5231
URL http://www.technoecho.co.jp
E-MAIL info@technoecho.co.jp

 2008.04.21